

# コンチェルト

Concerto

The 5th simc  
Volunteer News

第5回仙台国際音楽コンクール

ヴァイオリン部門:2013.5.25(土)~6.9(日) ピアノ部門:2013.6.16(日)~6.30(日)

Vol.5-1

(2012.3.16発行 第5回コンクール関連の第1号です)

## 第5回 仙台国際音楽コンクール開催に寄せて 奥田 佳道 氏 (音楽評論家)



仙台国際音楽コンクールをまだ体験されていない方。とてももったいないです。音楽コンクールは楽器を専門的に学ぶ学生や若者だけを対象としたイベントではありません。

もちろんコンクールの使命は、芳醇なクラシック音楽を仲立ちに伸びゆく才媛、俊英を見出し、手を差し伸べ、彼・彼女たちに飛躍のチャンス을 創ってあげることです。でもそれだけではないのです。

思い切って全部カタカナで記せば、キーワードはクラシック、エンジョイ、オーディエンス、それにサポーターです。「コンクール」という言葉をフェスティバル、フェスタ、ガラパフォーマンスと置き換えてもいいかも知れません。

ここで話題にしている仙台国際音楽コンクールは、芸術や歴史、文化、それに美酒・美食が息づく街・仙台の、喜びと賑わいにみちたお祭りなのです。誤解を恐れずに申せば、そういうお祭りでなきゃ、ダメなのです。とにかく参加しないテはありません。

コンクールでは、課題曲という少々「コンクールの」な言葉のもと、たくさんのクラシック音楽が演奏されます。これがすごいことになっています。

仙台国際音楽コンクール最大のセールスピッチ(売り)は、もうご存じの方ばかりと思いますが——いや初めて知った、という方も大歓迎なのですが——オーケストラとのコンチェルト演奏です。時空を超えて愛されてきたヴァイオリン協奏曲にピアノ協奏曲。いずれもクラシック音楽の華、輝けるジャンルです。ソリストのステージプレゼンスも指揮者の鮮やかなタクトもオーケストラの劇的なサウンドも、一度に楽しめます、とは評論家みたいな言い方ですね。

しかもコンクールにすべてをかける「すで腕」の若者がソリストで、仙台のクラシックシーンの顔である我が仙台フィルハーモニー管弦楽団がホストオーケストラなのです。笑い話のようなお話になりますが、ソリストに、すでに世界的なアーティストや有名人はいません。だってコンクールですから。では盛り上げられないかと言えば、そんなことはありません。会場は「出逢い」の喜びに満ちあふれているのです。

これから世界の檜舞台に羽ばたく新星に喝采を贈る音楽ファン、とにかくコンクールの勢いというか雰囲気が好きという方、あと、なんだか知らないけれど、勝手に参加者やコンクールの私設応援団員になったみたい人・人・人で、「こんなライブ、見たことがありません」というほど熱気にあふれているのです。そんな風にすでに「出来上がっている」ところに、独りで入っていくの

はちょっと、とか、出演者に特に知りあいはいませんし、とか、そもそも私たちはクラシック音楽にそれほど詳しくないですし……と心配なさる必要はまったくありません。ホールに足を踏み入れて下されば、もうその瞬間からあなたもコンクールのファン、サポーターになること、請け合います。

愛すべきコンチェルト(協奏曲)のお話をしようとしていたのです。今度の仙台国際音楽コンクールで「楽しめる」コンチェルトはほんとうに多彩です。「楽しめる」? ええ、愛すべき仙台のコンクールを通じ、華やかなコンチェルト三昧の日々を過ごすのも、お勧めしたいコースのひとつなのです。

ヴァイオリンでは、ライブではなかなか出逢えないモーツァルト若き日のコンチェルトがまずあり、続いてベートーヴェンのロマンスと20世紀のヨーロッパ各国の民謡や舞曲から育まれた近代的なコンチェルトたち、そしてファイナル(本選)では、何と何と、ドイツ・ロマン派ヴァイオリン・コンチェルトの最高傑作であるブラームスが課題曲なのです。近代の名曲も王道を行くブラームスのヴァイオリン協奏曲も、オーケストラが「もうひとりの主役」というほど重要なので、ソリスト、指揮者、オーケストラのアイコンタクトや息づかいを目の当たりにするのも大いなる喜びとなることでしょう。ブラームスのオーケストラパートは最高にロマンティックですよ。交響曲のようでもあり、さらに第2楽章を牧歌的に彩るオーボエのソロなんて、あれ自体コンチェルトの趣です。これらの名曲を楽しまないで、どうします? しかもくどいようですが、ソリストは仙台にやってきた国内外の若者たちなのです。

ピアノもこんなに名曲ばかりでいいのですか、ほんとうにこれが課題曲なのですか、というほど豪華なラインナップです。神様に愛された者=アマデウスをミドルネームとするモーツァルトが音楽の都ウィーンで紡いだ奇蹟のコンチェルトたちにベートーヴェン。ファイナルはまさに百花繚乱で、どんな人が来て、何を弾くのかなという想像や期待も含めて、ピアノ協奏曲のすべてがここに、と声高に宣言したくなるほどです。

フェスティバルやライブのきらめきを感じながら、こんどのコンクールで「クラシック・コンサート・デビュー」をされるのも、またオツなものです。ライブを創るのは、今、これを読んで下さっているあなたでもあるのです。

仙台国際音楽コンクールに、皆様、ようこそ!

伸びゆく才媛、俊英の演奏に喝采を贈りませんか。心ときめくヴァイオリン協奏曲、ピアノ協奏曲に抱かれてみませんか。若者が奏でる音楽は私たちに夢や希望ばかりでなく、「力」を与えてくれます。



第4回仙台国際音楽コンクール



# 第5回仙台国際音楽コンクール(略称「SIMC」) 出場者募集始まる

募集期間 2012年1月20日～11月15日

新しい実施要項を見ると従来と変わった点があり、またそれが第5回仙台国際音楽コンクールの特徴にもなっていると思われる点を挙げてみます。

## 世界各都市でのオーディションからDVDによる予備審査へ変わる

まず、これまでの世界6都市で開催されていたオーディションは行われず、予備審査は書類とDVDで行われ、そこで本選への出場者が決定されることとなりました。本選は予選、セミファイナル、ファイナルで構成されます。オーディションの役割は世界各地で当コンクールのPRと知名度を上げることにもありましたが、反面、参加者には会場が遠かったり、日程が合わなかったりなど、制限や負担も大きかったことがあげられます。新たな書類とDVDでの審査で期待されることは、応募が少し容易となることで世界中から広く多くの優秀な出場者が集まるのではないかと思います。なお、出場資格は1985年1月1日以降に出生した人です。今回は東日本大震災の影響も大きく応募状況への懸念もありますが、被災地仙台へ世界の若者がやってきます。研鑽を重ねた彼らの音楽の力が復興を担う市民の力ともなることを信じて、一人でも多くの入場、応援が願われます。



## 審査委員にスヴェトリン・ルセフさん加わる

次に、審査委員は両部門で新しく9名の方に就任いただきました。中でも第1回の仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門の優勝者スヴェトリン・ルセフさん(ブルガリア/フランス)の就任が決まり、過去のコンクールの優勝者を審査委員としてお迎えできることは初めてのことであり、感慨深いものがあります。現在、パリ国立高等音楽院教授、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団首席客演コンサートマスターを務めています。

## オーケストラ

セミファイナル、ファイナル、ガラコンサートを通して、コンチェルト(協奏曲)のオーケストラは仙台フィルハーモニー管弦楽団が務めます。指揮は常任指揮者のパスカル・ヴェロさんです。

## 審査委員

13ヶ国から22名の方々が審査に当たられます。

### <ヴァイオリン部門>

|      |                        |
|------|------------------------|
| 委員長  | 宗 倫匡(日本)               |
| 副委員長 | 岡山 潔(日本)               |
| 委員   | フェリックス・アーヨ(スペイン/イタリア)  |
|      | ピエール・アモイヤル(フランス)       |
|      | シュミエール・アシュケナージ(アメリカ)   |
|      | 堀米 ゆず子(日本)             |
|      | ヤンウク・キム(アメリカ)          |
|      | チョーリャン・リン(アメリカ)        |
|      | クリストフ・ポッペン(ドイツ)        |
|      | スヴェトリン・ルセフ(ブルガリア/フランス) |
|      | ミハエル・ヴァイマン(イスラエル)      |

### <ピアノ部門>

|      |                     |
|------|---------------------|
| 委員長  | 野島 稔(日本)            |
| 副委員長 | 植田 克己(日本)           |
| 委員   | ベルント・ゲツケ(ドイツ)       |
|      | ブルーノ・カニーノ(イタリア)     |
|      | ダン・タイソン(ベトナム)       |
|      | ヨヘヴェド・カプリンスキー(アメリカ) |
|      | セシル・ウセー(フランス)       |
|      | エヴァ・ポプウォッカ(ポーランド)   |
|      | スタファン・シェーヤ(スウェーデン)  |
|      | 申 秀貞(シン・スジョン)(韓国)   |
|      | エリソ・ヴィルサラーゼ(ロシア)    |

## 第5回仙台国際音楽コンクール

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| ヴァイオリン部門 | 2013年(平成25年)5月25日(土)～6月9日(日)  |
| ピアノ部門    | 2013年(平成25年)6月16日(日)～6月30日(日) |
| 会場       | 仙台市青年文化センター(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)  |

※なお、課題曲などさらに詳しい実施要項は仙台国際音楽コンクールの公式ホームページ<http://www.simc.jp/>でご覧になれます。

# 仙台国際音楽コンクール(SIMC)を支えるボランティア

地域とともに歩んできたSIMCでは、たくさんの市民によるボランティア活動が盛んに行われており、それが大きな特徴ともなっています。4つの部門に分かれ、それぞれがコンクールをより充実させるための活動を続けています。

## ◆会場運営サポート部門(仙台国際音楽コンクール・ 仙台クラシックフェスティバル会場運営ボランティア)

コンクール開催期間中や関連する事業などで、受付・案内誘導などを担う部門です。

ご来場されるお客様をお迎えし、直に触れ合う部門ですので、おもてなしの心を持って笑顔で対応します。

☆「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも活躍!

仙台の秋を彩る音楽イベント「せんくら」。数多くのコンサートの運営でも、会場運営サポート部門のメンバーが大活躍!コンクール同様に、スタッフとして受付や会場案内などの業務などを行います。

## ◆広報宣伝サポート部門

仙台国際音楽コンクールを、広く知ってもらうためのPR活動を行う部門です。ボランティア目線で編集した広報誌「コンチェルト」の発行や、仙台に初めて訪れるコンクール出場者などにお渡しする仙台を紹介する冊子(地図)「Map for SIMC Contestants」を発行します。ブログなどのWEBを使った情報発信もしています。

## ◆出場者サポート部門

世界中から仙台に集まる出場者たちに寄り添い、仙台での滞在を有意義なものにするために幅広い活動を行います。コンクールの関連事業や練習会場などで通訳をしたり、出場者の休憩スペースであり、来場者との触れ合いの場ともなる「交流サロン」を運営し、仙台滞在の情報サポートとともに、日本や仙台の文化を紹介する催しも開催します。

## ◆ホームステイ受入れ部門

コンクール終了までの期間、コンクール出場を終えた出場者をご家庭に受け入れる部門です。海外からの出場者だけでなく、日本在住の出場者たちもホームステイをします。国際交流とともに、出場者との絆を深める時間を過ごせます。

★2013年に開催される第5回のコンクールで、ともに活動して下さる新規ボランティアを募集しています!! 新しい音楽やコンクールの楽しみ方が見つかるかもしれません。皆様のご参加を心よりお待ちしております♪

## ★仙台国際音楽コンクールボランティア活動説明会のご案内★

仙台国際音楽コンクールとコンクールボランティアについて、第4回コンクールでの活動体験談を交えながらご紹介します。ご興味のある方は、ぜひご参加ください♪

### 【広報宣伝サポート・出場者サポート・ホームステイ受入れ部門】

- ・日時:2012年6月8日(金) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30 ③19:00~20:30  
2012年6月9日(土) ④10:30~12:00  
※①~④のいずれか1回ご参加ください
- ・会場/仙台市青年文化センター 2階交流ホール<①~④とも>

会場運営サポート部門にご興味のある方はこちらの説明会にご参加ください。

### 【コンクール&せんくら会場運営ボランティア活動説明会】

- ・日時:2012年6月8日(金) ①15:00~16:30 ②19:00~20:30  
2012年6月9日(土) ③14:00~15:30  
※①~③のいずれか1回ご参加ください
- ・会場/仙台市青年文化センター 3階エッグホール<①、②>  
2階交流ホール<③>

※説明会への参加方法:直接会場にお越しください(事前申込み不要)

■募集対象:15歳以上の方(中学生を除く)で原則として第5回コンクール終了まで活動可能な方  
(2012年4月1日現在18歳未満の方は保護者の同意が必要です)

### ■ボランティアの申込方法

申込書に必要事項を記入の上、郵送、Faxにて下記申込先まで提出してください。申込書は問合せ先にご請求ください。また、仙台市内の主な施設に配置しています。また、4月中旬には、公式サイトからのダウンロードも可能となる予定です。

■ボランティア申込期限:2012年6月29日(金) 必着

■申込・問合せ先:〒981-0904仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5  
仙台市市民文化事業団コンクール推進課  
(仙台国際音楽コンクール事務局)  
Phone 022-727-1872 Fax022-727-1873  
公式サイト <http://www.simc.jp/>

## 素顔の出場者たち

シヨパン国際コンクールのファイナリストでもあるN嬢は、コンクール以後仙台に縁があったらしく、わが家をねぐらに暖かいコンサートを繰り広げています。彼女の名譽のためにナイショですが、朝化粧の気のない顔に、娘のよれよれのパジャマを着て、ヒョロヒョロ現れてきます。ところが舞台に立つとなると、別人のように豹変。この豹変振りがどの出場者にも共通の出来事で、背高のつぼのウィーンからのC氏は、割り箸にパジャマを着せたような風情で現れ、和食好きというところで、朝食は間に合わせで具沢山の味噌汁をよく出しました。数年前にウィーンを旅行した折に約束どおり再会しましたが、懐かしさでいっぱいでした。お返しにザツハルトテをご馳走してくれました。今彼は、作曲家として活躍しています。彼とその後に出場者たちの何人かは、一緒にコンサートをする仲間で、これも仙台から広がる大きな友情の輪。

そうそう、出場者同士の小さなラヴロマンスも生まれました。ひよつとしてただの友情だったのかも知れませんが、一人はアメリカ、一人はザルツブルグへ。美男美女の駅での別れは、熾烈なコンクールを共有した二人だけに、映画のスクリーンのように印象的でした。ドイツの歌劇団の団員の座を見事勝ち取ったN嬢。とてもさばさばしたお嬢さんで、仙台で知り合ったドイツ人留学生と仲良く楽天の試合を見に行ったり、夫とも意気投合して会話も弾んでいました。なんといつても共通言語は日本語でしたから。それから……と話は尽きず、素顔の出場者たちとの交流は、なんといつてもホストファミリーの特権。多くの方に是非この喜びを体験していただきたいと思っています。

## 第4回仙台国際音楽コンクール優勝記念演奏会を開催します!

過去最高レベルと評された第4回コンクールにおいて、卓越した表現力と存在感を発揮して優勝を果たしたクララ・ジュミ・カンとヴァディム・ホロデンコ。若き実力派の素晴らしい演奏をお楽しみください。

### クララ・ジュミ・カン ヴァイオリンリサイタル



【日時】  
2012年6月2日(土) 14:00開演 / 13:30開場

【プログラム】  
J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第1番  
短調 BWV1002  
ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第7番 短調 op.30-2  
ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタ 長調  
ヴィエニャフスキ: 伝説曲 op.17  
ヴィエニャフスキ: 華麗なポロネーズ 第2番 長調 op.21  
ヴィエニャフスキ: 華麗なポロネーズ 第1番 長調 op.4

※曲目、演奏順を変更する場合がございます。予めご了承ください。

共演 津田裕也(ピアノ)

### ヴァディム・ホロデンコ ピアノリサイタル



【日時】  
2012年6月3日(日) 14:00開演 / 13:30開場

【プログラム】  
J.S.バッハ: 4つのデュエット BWV802-805  
J.S.バッハ: イタリア協奏曲 BWV971  
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第23番 短調 op.57「熱情」  
ラフマニノフ: コレリリの主題による変奏曲 op.42  
ストラヴィンスキー: ペトルーシカからの3楽章

※曲目、演奏順を変更する場合がございます。予めご了承ください。

- 【会場】 仙台市青年文化センター コンサートホール (仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5) ※ご来場の際はできるだけ地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用下さい。
- 【チケット】 (全席指定) S席: 3,000円 A席: 2,500円 学生(A席) 1,000円 2公演セット券(S席) 5,000円  
(仙台市市民文化事業団友の会割引料金 S席: 2,700円 A席: 2,200円 学生券、セット券は友の会割引なし) ※未就学児のご入場はご遠慮願います。
- 【プレイガイド】 藤崎、仙台三越、ヤマハミュージック東北仙台店、カワイミュージックショップ仙台、仙台・杜の響きコンサート、河北チケットセンター (022-211-1189平日10時~17時)、  
仙台市市民文化事業団(青年文化センター1階事務室)、イズミティ21、チケットぴあ(Pコード162-058) ※友の会割引販売、セット券、学生券は、市民文化事業団、イズミティ21のみ取り扱い。
- 【お問い合わせ】 チケット・電話予約 仙台市市民文化事業団 総務課 企画調整係 Tel: 022-727-1875  
公演内容・その他 仙台市市民文化事業団 コンクール推進課 Tel: 022-727-1872
- 【主催】 仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、仙台市市民文化事業団、河北新報社
- 【助成】 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(6/2公演のみ)

仙台国際音楽コンクールピアノ部門出場者による

## Charity Concert for Sendai Vol.2

仙台国際音楽コンクールのピアノ部門日本人参加者の有志が、東日本大震災により大きな被害を受けた仙台市への支援のために、昨年4月7日に開催したチャリティコンサートの第2弾。今回も収益の全額が義援金として仙台市に寄付されます。



佐野 隆哉



鈴木 美紗



津島 圭佑



法貴 彩子



美世 真里奈

日時 2012年4月1日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場 天光院 シェリーホール(港区芝公園)

入場料 一般 2,000円/学生 1,000円 全席自由

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

申し込み・問い合わせ

E-mail [charity.sendai@gmail.com](mailto:charity.sendai@gmail.com)

公式ブログ <http://blog.goo.ne.jp/charitysendai/>

### ■プログラム

シューベルト: ソナタ D.894より第1楽章  
ドビュッシー: 前奏曲集 第1巻より  
ベルク: ピアノ・ソナタ  
ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ  
フォーレ: ノクターン第6番  
マルタン: 前奏曲より (順不同)

※出演者、プログラムは、やむを得ず変更になる場合がございます。  
あらかじめ、ご了承ください。

震災後、各地で音楽の力がどれだけ人々を癒し、  
元気づけてくれたことでしょう。来年のコンクール  
は、時間のかかる大仕事を背負った東北の人々へ  
の心の支えになることまちがいない!です。(三)

コンクール公式Facebookに掲載された、震災後  
に寄せられた出場者からのメッセージに心が熱  
くなります。仙台で生まれた絆や音楽の力に改めて  
感謝して…。(松)

便利なデジタルツールが手放せませんが、文  
章に関してはいまだに紙面のほうが読みやす  
く、手書きの方が考えがまとまりやすいです。  
(川)

### 編集後記

頑固にアナログ道まっしぐら。支えてくれる心優  
しき仲間感謝あるのみ (吾)

♪久しぶりにラジオ番組へリクエスト曲のメー  
ルをした。CDラックを探せば見つかりそうだけ  
どラジオから流れる曲を聴きたくなった。電波  
を通じて他の誰かと音楽を共有できるのがうれ  
しい。(薫)

ボランティアの皆さんの想いが詰まったコンチェ  
ルト。第5回もいよいよ発進。どうぞお楽しみに!  
(丹)

主 催 Charity Concert for Sendai 実行委員会  
後 援 仙台国際音楽コンクール事務局  
会場提供 天光院

コンチェルトの制作に初めて関わらせていただきました。ボランティアの  
皆様が多忙の中でご尽力頂く様子を体感することが出来たこと、  
とても感激です!(敏)

発行: 第5回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ: 仙台市市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局) Phone: 022-727-1872 / E-mail: [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp) / URL: <http://www.simc.jp/>